

化粧プレート **4**色同梱



White



Light Almond



Bone



Black



安心の **3**年保証

(納品日基準：日本国内で使用の場合)

**BGMの音量調整** がエリア毎に分割可能

**多数のスピーカー** もアンプ1台に接続可能

#### 同梱品

- ・ コントローラー本体
- ・ 化粧プレートセット x 4色分  
(外装プレート、ベースプレート、  
センタープレート、ボリュームノブ)
- ・ 本体取付用ネジ x 2本
- ・ プレート用ネジ x 2本

#### 推奨ツール

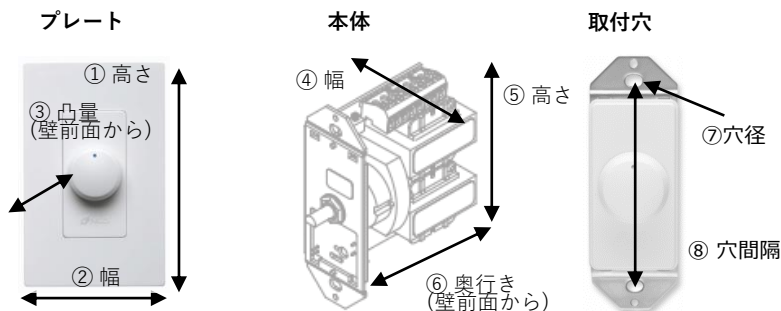
- ・ はさみ金具(上下分離式)  
または 米国標準電気ボックス  
(18インチ四方サイズ)
- ・ はさみ金具用ネジ ※注記参照
- ・ 標準プラスドライバー(番手:No.2)
- ・ 配線材 SQ 1.25~2.0

#### ※はさみ金具使用時の注意事項

壁への取り付けは、本機付属のネジではなく、はさみ金具の規格に合ったネジを使用します。ただし化粧プレートの取り付けの邪魔にならないよう、皿頭：直径6.3mm以内をご用意ください。



#### 製品寸法



製品寸法 (実測値)		VCS100K
プレート	① 幅	74.9 mm
	② 高さ	119.4 mm
	③ 凸量	23.7 mm (ノブを含む)
本体	④ 幅	39.3 mm
	⑤ 高さ	74.9 mm
	⑥ 奥行き	69.1 mm
取付穴	⑦ 穴径	7 mm x 5 mm
	⑧ 穴間隔	83.3 mm (中心間)

工事専門業者以外は取り付けを行わないでください。(工事の不備は、火災・感電の原因となります。)

- ・ 最新の内線規程に則り、絶縁板などの堅牢な隔壁や絶縁セパレータをご使用ください。
- ・ 壁内配線を伝って照明スイッチや他の機器が発するノイズがスピーカーから再生されることがあるため、配線経路にご注意ください。
- ・ 強電配線(照明スイッチや電源コンセントなど)と本機を接続取付けするときは、隔壁が必要です。
- ・ 本機と他のボリュームコントローラーを混ぜて使用することはできません。

# VCS100K クイックスタートガイド

## 配線・接続

1. あらかじめコントローラーの設置場所までスピーカーコードを配線しておく。(通常はSq1.25、25m以上の配線はSq2.0を推奨)
2. アンプのボリュームを最小にして、アンプの電源をオフする。
3. アンプのスピーカー出力からのコードを、コントローラーの入力端子 (INまたは**AMPLIFIER**と表示) に接続する。
4. 同様に、スピーカーに向かうコードを、コントローラーの出力端子 (OUTまたは**SPEAKER**と表示) に接続する。

## 設定・設置

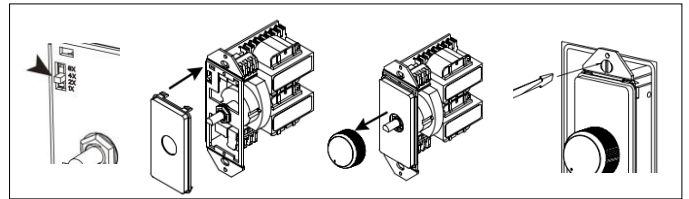
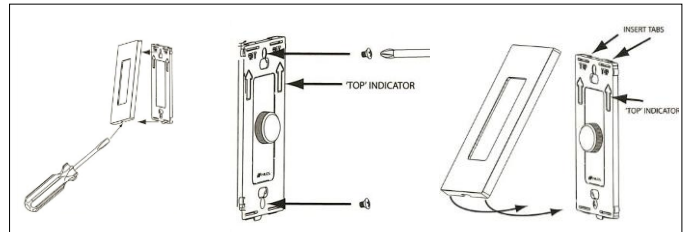
5. インピーダンス切り替えスイッチを設定する。※別項目参照
6. センタープレート、ボリュームノブを取り付ける。
7. はさみ金具などを用い、壁にコントローラー本体を取り付ける。(本紙、おもて面の注記※を参照のこと)
8. ベースプレートと外装プレートをマイナスイドライバーで分割する。
9. 矢印を上↑に向けベースプレートをネジ止める。
10. 外装プレートを取り付ける。

## 音量調整

11. VCS xx Kのボリューム位置を最大にする。
12. アンプの電源ONにし、ソース機器から音楽を再生しながらアンプのボリュームを徐々に上げ、快適な音量より少し大きい音量に調整する。(音のクリップやオーバーロードが発生しない位置にする)
13. 前の手順で決めたアンプのボリューム位置をアンプの基準ボリュームとしてマーキングなどしておく。
14. VCS xx Kのボリュームを下げ、快適な音量に調整する。

**図1 コネクターへの接続**


**注意：入力(AMP)と出力(SPEAKER)の極性を逆に接続すると、コントローラーのボリュームを最小にしたときに、アンプ出力の+/-がショート(短絡)し、アンプに深刻なダメージを与えます。再度、手順3と4での接続が確実にされているかご確認ください。**

**図2 手順5~7 設定と壁への設置**

**図3 手順8~10 プレートの分割から化粧プレート装着まで**


## インピーダンス設定の決定手順

- ① **接続する機器、台数など、以下の仕様を確認する。**
  - ・アンプの最低保証インピーダンス
  - ・接続するスピーカーのインピーダンス
  - ・当コントローラー1chあたりに接続したいスピーカーの台数
  - ・アンプ1chあたりに接続したいコントローラーの台数
- ② **コントローラー1chあたりに接続する全スピーカーの合成抵抗を計算する。**(並列接続を前提とします。)

例1) 8Ωスピーカーを4台接続する場合  $1/(4台/8Ω) = 8/4 = 2Ω$   
 例2) 8Ωを2台、4Ωを4台接続する場合  
 $1/(2台/8Ω + 4台/4Ω) = 1/(5/4) = 4/5 = 0.8Ω$

- ③ **コントローラーのインピーダンス設定値(倍率)を選ぶ。**

**アンプの最低保証インピーダンスが4Ω以下の場合**  
 コントローラーは出力の最低保証が4Ωのため、②で計算した合成抵抗値が4Ω以上になる設定値を選びます。

例1) 合成抵抗が2Ωの場合 2倍以上 ( $2Ω \times 2 = 4Ω$ )  
 例2) 合成抵抗が0.8Ωの場合 8倍以上 ( $0.8Ω \times 8 = 6.4Ω$ )

**アンプの最低保証インピーダンスが4Ωより高い場合**  
 ②での計算値がアンプの最低保証インピーダンスの合成抵抗値以上になる設定値を選びます。(アンプは8Ωの場合で説明します)

例1) 合成抵抗が2Ωの場合 4倍以上 ( $2Ω \times 4 = 8Ω$ )  
 例2) 合成抵抗が0.8Ωの場合 8倍以上 ( $0.8 \times 8 = 6.4Ω = NG!$ )

この例2では8倍の設定でもアンプの最低保証インピーダンスより小さくなり、ご使用いただけません。使用されるスピーカーの品種や本数を見直してください。

- ④ **アンプ1chあたりに接続するコントローラー全体の合成抵抗を計算し、アンプの安全性を確保する。**

もしアンプ出力1chあたりに複数台のコントローラーを使用する場合は、③で計算したインピーダンス設定後のコントローラーのインピーダンスを、②と同様に計算してください。アンプの最低保証値を下回る場合は、インピーダンスの倍率を大きくするなどの対応が必要です。

計算方法が不安なときは、①の仕様情報を揃えてお問合せください。

## 仕様

主な仕様	VCS100K	
許容入力	100W(RMS)/ch	
チャンネル数	2 ch (Stereo)	
調整ステップ	12段階	
最大減衰量	54dB	
周波数特性	20Hz to 20kHz ± 2dB	
インピーダンス設定	1X, 2X, 4X, 8X	
最小スピーカー負荷	4Ω/ch (上記設定後の負荷)	
回路構成	オートフォーマー式	
接点方式	無開放接点 (POPノイズフリー)	
配線要件	AWG	#16 - #14 (撚り銅線)
	SQ	1.25 - 2.0 [mm <sup>2</sup> ]
	直径φ	1.3 - 1.6 [mm]
コネクター	小型レバー式	
質量	本体のみ	452 g
寸法	寸法図に記載	
JAN (UPC)	760514016521	

